新たな中部圏広域地方計画
［プロジェクト説明図表］

暮らしやすさと歴史文化に彩られた

“世界ものづくり対流拠点－中部”

国土交通省

■プロジェクト構成について

［第３章　基本方針に係る具体的方策］

［第４章　新たな中部圏の実現に向けた戦略］

方針１　世界最強・最先端のものづくりの進化

- 1.ものづくり中部・世界最強化 PJ
  - 1-1ものづくり中枢圏形成
  - 1-2 環太平洋・環日本海に拓く一大産業拠点形成

方針２　スーパー・メガリージョンのセンター、我が国の成長を牽引

- 2.リニア効果最大化対流促進 PJ
- 3.新たな観光交流おもてなし PJ
  - 3-1広域観光交流圏の形成
  - 3-2 「昇龍道プロジェクト」の推進

方針３　地域の個性と対流による地方創生

- 4.中部圏創生暮らしやすさ実感 PJ
- 5. 快適・安全安心な生活環境実現 PJ

方針４　安全・安心で環境と共生した中部圏形成

- 6.中部・北陸圏強靭化 PJ
  - 6-1 南海トラフ地震など大規模自然災害への備え
  - 6-2 太平洋・日本海２面活用型国土構築
- 7.環境共生・国土保全 PJ
- 8.インフラ戦略的維持管理 PJ

方針５　人材育成と共助社会の形成

- 9.すべての人が輝く「ひとづくり」PJ
- 10.新たな「つながり」社会構築 PJ

中部・北陸圏広域連携

・2008年東海北陸自動車道の全線開通を契機に中部圏と北陸圏のつながりが一層強化され、中部国際空港や名古屋港、四日市港、伏木富山港などをゲートウェイに環太平洋、環日本海に拓かれた拠点性を高めつつある。
・産業や観光、防災、環境分野においては、中部圏・北陸圏の昨今の社会や地域の動向などを踏まえて広域連携の視点からプロジェクトを展開。

方針1　世界最強・最先端のものづくりの進化

［第3章　基本方針に係る具体的方策］

1. 我が国の成長を担う産業の強化
～企業の国内回帰・海外の対日投資を呼び込む～
（1）中部圏の産業競争力の強化、世界最強・最先端のものづくり中枢圏の形成
① 中部圏の戦略産業の強化
② ものづくりマザー機能の強化
③ グローバル展開の支援
（2）ものづくり産業を支える中堅・中小企業の振興
（3）環太平洋・環日本海に拓かれた一大産業拠点・中部北陸圏の連携強化

2. 高度なものづくり技術の活用による新たな産業の創生
（1）ものづくり産業に関連する新たな産業の創生
（2）大学や官・民の研究施設等のネットワーク強化による更なる研究力の強化

3. 水素社会実現など新しい世界モデルの提示

4. 国際競争力を支える産業基盤の強化
（1）基幹産業を支える国際物流拠点の強化
① 国際拠点港湾等の機能強化
② 国際拠点空港の機能強化
③ 空港・港湾の安全性強化
（2）ものづくり産業を支える陸・海・空の拠点を結ぶ道路ネットワーク強化
（3）将来を見据えた総合的な土地の利活用
（4）安定したエネルギー供給の多様化・安定した水の供給

【方針5】人材育成と共助社会の形成
1. 中部圏を支える人材の育成と確保
（1）高度人材、グローバルに活躍する人材

1.ものづくり中部・世界最強化プロジェクト

1－1 ものづくり中枢圏形成

・中部のものづくりが有する人材力・技術力・集積力、研究力、品質力に更なる磨きをかけ、次世代自動車関連産業や航空宇宙産業など世界最強、最先端のものづくりへの進化
・様々な価値を創造する中部のものづくりが、国内外から、ヒト、モノ、カネ、情報が集まり対流する熱源となり、世界最強のものづくり中枢圏へと発展

戦略産業の強化、新産業の創出・育成

- ・次世代自動車関連産業の育成・強化
- ・アジアNo1航空宇宙産業クラスターの形成
- ・ヘルスケア産業の育成・強化
- ・新たな環境ビジネスの創出・拡大
- ・大学や官・民の研究開発･イノベーション力・先端技術の積極的活用による新産業創出

ものづくり中堅・中小企業の振興・高度化

ものづくり産業を担い活躍する人材の育成･確保

ものづくりを支える産業基盤の強化

- ・港湾・空港・道路・治水
- ・ 水素社会の基盤整備
- ・エネルギー供給の多様化・安定したエネルギーの確保
- ・安定した水の供給

1－2［中部・北陸広域連携］環太平洋・環日本海に拓く一大産業拠点形成

・中部圏のものづくり産業と北陸圏の素材産業、ライフサイエンス産業の有する強みを活かした連携･補完を推進
・環太平洋から環日本海に跨がる新たな産業拠点の形成･発展
・国際航空貨物輸送をできるだけ中部圏、北陸圏の両圏域内で完結させるなど、戦略的な広域物流ネットワーク構築を推進し、国際競争力の向上を図る。

次代の我が国の成長を担う新たな産業集積拠点の形成

中部国際空港を経由する国際航空貨物輸送の拡大

1．ものづくり中部・世界最強化プロジェクト　1-1　ものづくり中枢圏形成①

戦略産業の強化、新産業の創出・育成

■次世代自動車関連産業の育成・強化
・FCV普及や2020～2030年を目処とした自動運転の実用化
・オンデマンド型自動運転など高度運転支援システムの実用化
・炭素繊維複合材の高効率な製造プロセスの確立など次世代自動車関連技術開発

■アジアNo.1航空宇宙産業クラスターの形成
・航空宇宙産業フォーラムなど、「オール中部」の連携、技術集積
・国際戦略総合特区制度を活用した企業集積や新規参入支援、産業機能の拡大・強化
・MRJ開発・生産拠点としての空港周辺整備　など

■ヘルスケア産業の育成・強化
・医工連携の促進
（静岡県「ファルマバレープロジェクト」「あいち健康長寿産業クラスター推進協議会」「三重県・岐阜県医療福祉機器開発連携会議」など）
・最先端の光・電子技術による健康医療産業の研究開発（三重県「みえメディカルバレー推進代表者会議」「浜松・東三河イノベーション推進協議会」）　など

■新たな環境ビジネスの創出・拡大
・循環ビジネス普及・促進に向けた情報発信
・アジア諸国等への環境ビジネスの海外展開　　など

■大学や官・民の研究開発・イノベーション力・先端技術の積極的活用による新産業創出
・次世代新素材として注目されるセルロースナノファイバー（CNF）の実用化、研究開発（「ふじのくにCNFフォーラム」など）
・ロボット関連技術開発や事業化支援（あいちロボット産業クラスター推進協議会など）
・大学、公設試験研究機関への開放型試験・評価機器設備の導入・利用促進、技術相談などオープンイノベーションの推進　　など

アジアNo1航空宇宙産業クラスターの形成

【愛知県HPをもとに作成】

次世代自動車　FCV（MIRAI）

【出典】トヨタ自動車株式会社HP

【写真提供】三菱航空機株式会社

高齢者向けの癒やしロボット

【出典：愛知県ホームページ】

ヘルスケア産業

（新型喉頭鏡）

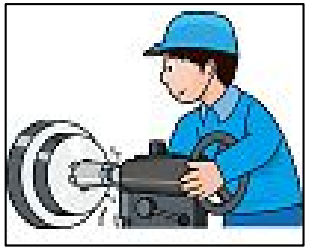
※名古屋市立大学と岐阜県企業との共同開発

ファルマバレーの主な研究成果

（救急時携帯用人口呼吸器）

【出典：静岡県ホームページ】

中堅・中小企業の振興

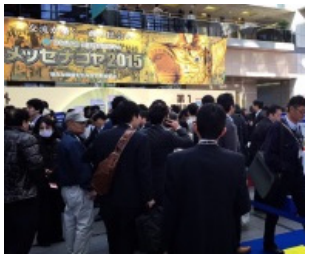


1．ものづくり中部・世界最強化プロジェクト　1-1 ものづくり中枢圏形成②

ものづくり中堅・中小企業の振興・高度化

・中堅・中小企業の高付加価値化に繋がる取組、企業力の強化
・ものづくり技術のマザー工場化につながる設備投資や研究開発に対する支援
・メッセナゴヤをはじめとした中小企業の販路開拓、商談、技術交流等支援　　など

メッセナゴヤの開催

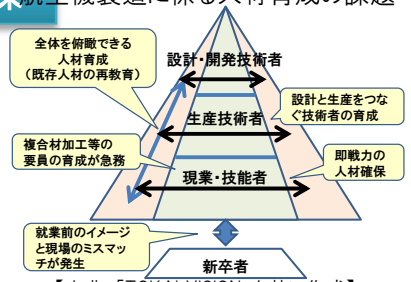


【写真提供】メッセナゴヤ実行委員会

ものづくり産業を担い活躍する人材の育成・確保

・高度な技術・技能を有する中核的人材、グローバル人材の育成・確保
・愛知のものづくりを支える留学生受入事業
・スーパーグローバルハイスクール指定校の運営
・GNIC、I－BAC等の連携による外資系企業の戦略的誘致
・2019年技能五輪全国大会などの誘致

航空機製造に係る人材育成の課題



【出典：「TOKAI VISION」を基に作成】

ものづくり産業を支える産業基盤の強化

■港湾・空港・道路・治水

・国際拠点港湾、重要港湾のコンテナ船・バルク貨物船の大型化に対応する国際物流機能の強化。物流施設の集約化、再編・高度化。
・中部国際空港の完全24時間化などの機能強化
・中部圏の骨格を成す東西軸・南北軸・環状軸、並びに空港・港湾や物流・生産拠点を結ぶ道路ネットワークの強化。
・中枢機能が集積する濃尾平野・海抜ゼロメートル地帯の治水安全度向上など

■水素社会の基盤整備

・「あいちFCV普及促進協議会」「ふじのくにFCV普及促進協議会」「みえ水素エネルギー社会研究会」の活動などを通じて、水素ステーションの整備促進。
・「燃料電池トライアルコア」における燃料電池関連の技術開発支援

■エネルギー供給の多様化・安定したエネルギーの確保、安定的な水の供給

・木質バイオマス発電等再生可能エネルギーの活用・普及
・渥美半島・志摩半島沖などのメタンハイドレートの活用検討
・四日市コンビナートのバイオリファイナリー実用化への取組
・安定的な水需給バランス、良質な水の安定供給　　など

【写真提供：愛知県】

【出典：岐阜県ホームページ】

ものづくり産業を支える高速交通ネットワーク

国際物流を支える名古屋港飛島ふ頭（ＩＴ自働化コンテナターミナル）

ものづくり中部の象徴・名古屋港
・総取扱貨物量は12年連続全国1位（2．1億トン）
・貿易額は4年連続全国1位（16．3兆円）
・貿易黒字額全国1位（6兆円）

集積が進む東海環状自動車道東回り沿線

1．ものづくり中部・世界最強化プロジェクト　1-2【中部・北陸広域連携】環太平洋・環日本海に拓く一大産業拠点形成

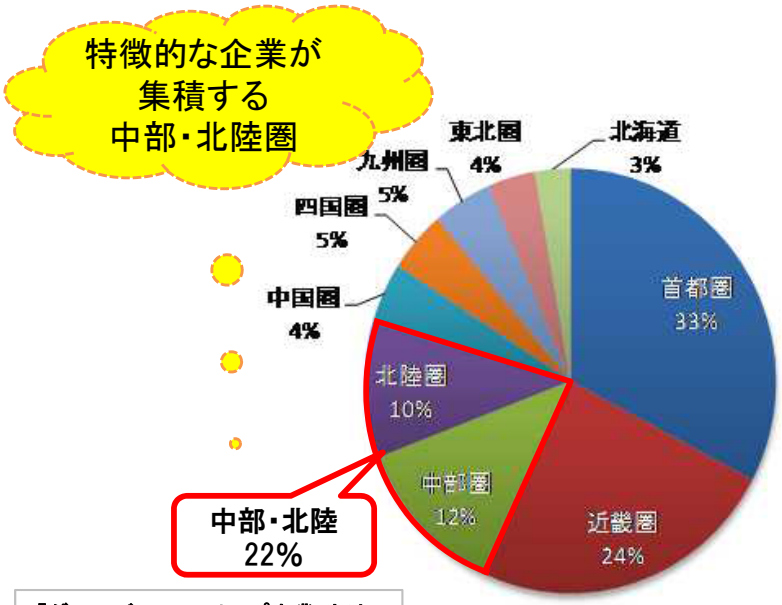
次代の我が国の成長を担う新たな産業集積拠点の形成

・高度なものづくり産業が集積する中部圏、素材産業やライフサイエンス産業に特徴を有する北陸圏、それぞれの強みを活かした連携・補完による広域産業拠点形成
・「東海・北陸コンポジットハイウェイ構想」を基軸に産産・産学連携を一層促進、炭素繊維複合素材に関する広域産業クラスター形成
・北陸圏のライフサイエンス産業と中部圏のものづくり産業による医工連携、次世代医療機器開発　など

中部国際空港を経由する国際航空貨物輸送の拡大

・国際航空貨物の中部国際空港への取り込みを図る。
・深夜貨物便を含めた国際ネットワークの拡充、新規航空貨物の開拓物流機能の高度化、交通ネットワークとの結節強化

国際競争力の高い企業が集積する中部圏・北陸圏
（グローバルニッチトップ企業100選に選ばれた企業の割合）



「グローバルニッチトップ企業」とは
・比較的小規模な分野に特化することにより、国際市場で競争優位を確保している超優良企業

【出典：経済産業省記者発表資料（平成26年3月17日）】

方針2　スーパー・メガリージョンのセンター、我が国の成長を牽引

［第3章　基本方針に係る具体的方策］

1. リニアを活かした新たな中部圏の形成 ～日本のハートランド・中部～

（1）中部圏の役割と中部固有の新たな価値の創造
- ① スーパー・メガリージョンにおける中部圏の役割
- ② 中部圏の新たな価値創造（企業活動・経営の構造転換、多様なライフスタイル等）

（2）国際競争力のある階層的大都市圏構造の構築
- ①大名古屋への変革を図る名古屋大都市圏、世界のNagoyaへ
- ②活力ある都市の連なりで強みを増す中京大都市圏

（3）リニア中間駅を核とした地域づくり
- ① リニア長野県駅（飯田地域等）
- ② リニア岐阜県駅（中津川地域等）

（4）東海道新幹線、及び新東名高速道路沿線地域へのリニア効果を活かす地域づくり

2. リニア効果の中部・北陸圏への広域的な波及

（1）名古屋駅のスーパーターミナル化

（2）広域波及のためのネットワーク強化
- ① 中部国際空港の機能強化、並びに名古屋駅とのアクセス強化
- ② リニアと一体となった道路・鉄道ネットワークの強化

3. 国際大交流時代を拓く観光・交流

（1）国内外との観光・交流の促進
- ① 中部国際空港やリニア駅を核とした広域観光交流圏の形成
- ② 昇龍道プロジェクトの展開強化
- ③ 観光産業の国際化
- ④ クルーズの振興、普及

（2）国際交流拠点としての魅力創造・発信、MICE、コンベンション機能拡充強化

【方針3】地域の個性と対流による地方創生
4. 地域の個性を活かした交流連携の創出

（1）地域資源を最大限活用する観光振興・観光業の活性化

2.リニア効果最大化対流促進プロジェクト

・リニア中央新幹線開業による効果により産業構造の転換やライフスタイルの変革を促し中部圏の新たな価値を創造

・中部国際空港と名古屋駅を中部圏のエントランスとして一体性を高め、名古屋大都市圏などを世界のイノベーションセンターへと変革

・リニア駅の拠点性を高めた新たな地域づくり、「陸・海・空」高速交通ネットワーク強化を図り、地域間・圏域間の広域連携、対流促進、中部圏のポテンシャルを一層高める

リニアを活かしたまちづくり
- ・名古屋駅を核とした名古屋大都市圏、中京大都市圏づくり
- ・リニア長野県駅（飯田地域等）を核としたまちづくり
- ・リニア岐阜県駅（中津川地域等）を核としたまちづくり
- ・リニア効果を活かす太平洋側の地域づくり

リニア効果を広域に波及させる基盤整備
- ・道路・鉄道

3.新たな観光交流おもてなしPJ

①広域観光交流圏の形成

多様な自然資源や地域に根付いた歴史文化、伝統産業など地域資源の魅力を高め、ストーリー性やテーマ性を持った地域資源のネットワーク化を図る。
また、イン・アウトの拠点となる空港、港湾と連携を図ったリニア中央新幹線をはじめ高速鉄道や高速道路などの高速交通ネットワークを活かした広域連携により多様な広域観光交流圏を形成し、国内外の様々な観光需要を取り込む対流促進型国土を構築する。

地域特性を活かした広域観光交流圏の形成
- ・静岡県東部～山梨県～長野県東部
- ・首都圏～長野県東部・北部～北陸圏
- ・長野県中部～飛騨・奥美濃～北陸圏
- ・紀伊半島南部（三重県伊勢志摩・東紀州～和歌山県新宮～奈良県南和）
- ・名古屋大都市圏～中京大都市圏

広域観光交流を支える基盤整備
- 道路・港湾

②［中部・北陸広域連携］「昇龍道プロジェクト」の推進

「昇龍道」の一層の推進を図るため、広域観光周遊ルートの形成や外国人旅行者の受入環境整備、一貫とした海外プロモーション等を継続し、訪日外国人旅行者の増加に向けた「昇龍道プロジェクト」を推進する。

広域観光周遊ルート「昇龍道」における重点ルートの設定

訪日外国人旅行者の受入環境水準の向上

一貫した海外プロモーションの実施

2．リニア効果最大化対流促進プロジェクト

リニアを活かしたまちづくり

■名古屋駅を核とした名古屋大都市圏、中京大都市圏づくり

・名古屋駅のスーパーターミナル化
（乗り継ぎ利便性向上、名古屋駅と名古屋高速道路の結節性強化等）
・名古屋駅周辺まちづくり構想の推進（ささしまライブ24　堀川・中川運河再生等）
・市街地再開発等による主要都市部の機能充実　　など

■リニア長野県駅（飯田地域等）を核としたまちづくり

・グローバル活動拠点、企業中枢機能の受け皿、ナレッジリンクの一翼、災害バックアップ機能、移住定住・二地域居住、広域観光などリニアバレー構想への取組

■リニア岐阜県駅（中津川地域等）を核としたまちづくり

・岐阜県の東玄関口、観光交流、高速交通の結節点・東濃クロスエリアを活かす企業集積、定住人口拡大等、中京大都市圏の一角を占める都市圏形成

■リニア効果を活かす太平洋側の地域づくり

・リニアと太平洋側を結ぶ南北軸強化
・リニア効果の受け皿整備に資する、防災・減災と地域成長の両立を図る「内陸フロンティアを拓く」取組
・富士山静岡空港と高速交通ネットワークとの結節性を強化、首都圏空港の代替空港としての機能強化　　など

リニア効果を広域に波及させる基盤整備

■道路

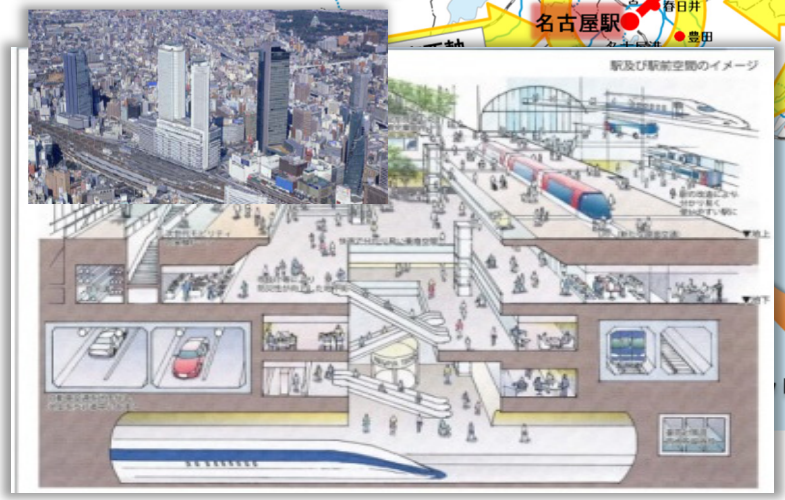
・名古屋駅と中部国際空港のリダンダンシィ機能を確保する道路ネットワーク
・名古屋駅と周辺都市とを結ぶ広域交通機能強化
・リニア中間駅へのアクセス道路網強化
・中部圏の骨格をなす東西軸、南北軸、環状軸の機能強化　など

■鉄道

・名古屋駅からの鉄道アクセス40分圏の拡大に資する鉄道機能強化　など

新しいライフスタイル（例）　会社員のワークスタイルの多様化（イメージ）

名古屋駅スーパーターミナル化



方針2　スーパー・メガリージョンのセンター、我が国の成長を牽引

［第3章　基本方針に係る具体的方策］

1. リニアを活かした新たな中部圏の形成 ～日本のハートランド・中部～

（1）中部圏の役割と中部固有の新たな価値の創造
- ① スーパー・メガリージョンにおける中部圏の役割
- ② 中部圏の新たな価値創造（企業活動・経営の構造転換、多様なライフスタイル等）
- ③ 日本のハートランド・中部

（2）国際競争力のある階層的大都市圏構造の構築
- ①大名古屋への変革を図る名古屋大都市圏、世界のNagoyaへ
- ②活力ある都市の連なりで強みを増す中京大都市圏

（3）リニア中間駅を核とした地域づくり
- ① リニア長野県駅（飯田地域等）
- ② リニア岐阜県駅（中津川地域等）

（4）東海道新幹線及び、新東名高速道路沿線地域へのリニア効果を活かす地域づくり

2. リニア効果の中部・北陸圏への広域的な波及

（1）名古屋駅のスーパーターミナル化

（2）広域波及のためのネットワーク強化
- ① 中部国際空港の機能強化、並びに名古屋駅とのアクセス強化
- ② リニアと一体となった道路・鉄道ネットワークの強化

3. 国際大交流時代を拓く観光・交流

（1）国内外との観光・交流の促進
- ① 中部国際空港やリニア駅を核とした広域観光交流圏の形成
- ② 昇龍道プロジェクトの展開強化
- ③ 観光産業の国際化
- ④ クルーズの振興、普及

（2）国際交流拠点としての魅力創造・発信、MICE、コンベンション機能拡充強化

【方針3】地域の個性と対流による地方創生
4. 地域の個性を活かした交流連携の創出

（1）地域資源を最大限活用する観光振興・観光業の活性化

2.リニア効果最大化対流促進PJ

リニア中央新幹線開業による効果により産業構造の転換やライフスタイルの変革を促し中部圏の新たな価値を創造していく。

中部国際空港と名古屋駅を中部圏のエントランスとして一体性を高め、名古屋大都市圏などを世界のイノベーションセンターへと変革していく。また、リニア駅の拠点性を高めた新たな地域づくりに取り組むとともに、「陸・海・空」高速交通ネットワーク強化を図り、地域間・圏域間の広域連携、対流促進により、中部圏のポテンシャルを一層高めていく。

リニアを活かしたまちづくり
- ・名古屋駅を核とした名古屋大都市圏、中京大都市圏づくり
- ・リニア長野県駅（飯田地域等）を核としたまちづくり
- ・リニア岐阜県駅（中津川地域等）を核としたまちづくり
- ・リニア効果を活かす東海道新幹線、新東名高速道路沿線の地域づくり

リニア効果を広域に波及させる基盤整備
- ・道路・鉄道

3.新たな観光交流おもてなしプロジェクト

3－1　広域観光交流圏の形成

・多様な自然資源や地域に根付いた歴史文化、伝統産業など地域資源の魅力を高め、ストーリー性やテーマ性を持った地域資源のネットワーク化
・イン・アウトの拠点となる空港、港湾と連携を図ったリニアをはじめ高速鉄道や高速道路などの高速交通ネットワークを活かした広域連携、多様な広域観光交流圏を形成
・国内外の様々な観光需要を取込む対流促進型国土の構築

地域特性を活かした広域観光交流圏の形成
- ・静岡県中部・東部・伊豆～神奈川県西部～山梨県～長野県東部
- ・首都圏～長野県東部・北部～北陸圏
- ・長野県中部～岐阜県飛騨・奥美濃～北陸圏
- ・紀伊半島南部（三重県伊勢志摩・東紀州～和歌山県新宮～奈良県南和）
- ・名古屋大都市圏～中京大都市圏

広域観光交流を支える基盤整備
- 道路・港湾・鉄道・バス等の公共交通機関

3－2［中部・北陸広域連携］「昇龍道プロジェクト」の推進

・「昇龍道」の一層の推進を図る、広域観光周遊ルートの形成や外国人旅行者の受入環境整備、一貫とした海外プロモーション等
・訪日外国人旅行者の増加に向けた「昇龍道プロジェクト」を推進

広域観光周遊ルート「昇龍道」における重点ルートの設定

訪日外国人旅行者の受入環境水準の向上

一貫した海外プロモーションの実施

3．新たな観光交流おもてなしプロジェクト　3-1広域観光交流圏の形成

地域特性を活かした広域観光交流圏の形成

■静岡県中部・東部・伊豆～神奈川県西部～山梨県～長野県東部

・中部横断自動車道の整備による連結強化、富士山静岡空港や清水港、リニア山梨県駅などをエントランス
・富士箱根伊豆国立公園や南アルプス国立公園、国際的なリゾート地・軽井沢など、大自然、歴史、文化、温泉、食など多彩な観光コンテンツ開発を促進した広域観光交流

■首都圏～長野県東部・北部～北陸圏

・信州まつもと空港、北陸新幹線、上信越自動車道、長野自動車道などを軸に、歴史文化、温泉、ウィンタースポーツ資源などを活用し、首都圏の富岡製糸場などの産業遺産や、北陸圏の歴史文化や自然、食文化などとも連携を図った広域観光交流

■長野県中部～岐阜県飛騨・奥美濃～北陸圏

・東海北陸自動車道、中部縦貫自動車道の整備に伴う地域の一体感醸成を背景
・信州まつもと空港、リニア長野県駅・岐阜県駅などをエントランス
・「三つ星街道」や「ぐるっと白山」など地域が先進的に取り組む観光交流や、大自然を背景としたグリーンツーリズムやスポーツツーリズムなど広域観光交流

■紀伊半島南部（三重県伊勢志摩・東紀州～和歌山県新宮～奈良県南和）

・伊勢神宮や熊野三山など古代から連綿と続く我が国固有の歴史文化や、海産資源や海女漁などの独特の地域資源など
・2016年伊勢志摩サミットにより高まる国際交流ポテンシャルを活かし、また、紀勢線整備などに伴う大都市との近接性を活かしたスポーツツーリズムなどの広域観光交流

■名古屋大都市圏～中京大都市圏

・我が国の近世を切り拓いてきた武将や忍者、城郭、古戦場などサムライ文化を発信する武将観光、ものづくり中部ならではの産業観光、「山・鉾・屋台行事」などの祭礼、美濃和紙・常滑焼など　伝統工芸などを活かした体験観光、名古屋都心部の都市　観光など、
・多様なコンテンツで魅了する対流拠点への発展

広域観光交流を支える基盤整備

■道路・港湾・鉄道・バス等の公共交通機関

・中部圏の骨格を成す東西軸・南北軸・環状軸の強化
・観光地への交通集中による渋滞対策や観光地を結ぶネットワーク形成に資する道路、高速交通サービス空白地帯の解消。
・リピート性、周遊性の高い広域交通ネットワークに資する二次交通の確保。
・ポートセールス促進による新たなクルーズ船の誘致。
・クルーズ船の大型化、寄港数の増加に対応するための施設整備、みなとオアシスの活用など受入環境の高質化。

3．新たな観光交流おもてなしプロジェクト　3-2【中部・北陸広域連携】「昇龍道プロジェクト」の推進

広域観光周遊ルート「昇龍道」における重点ルートの設定

・広域観光周遊ルート形成計画の一つである「昇龍道」でテーマ性・ストーリー性のある広域観光周遊ルート形成
・昇龍道エリアの魅力のさらなる向上

6つの「重点ルート」

Dragon Route

能登半島を頭とする龍が最大の都市名古屋から天に昇っていく様子に見立てた「昇龍道の象徴的なルート」

名古屋城

高山・中橋

Jurassic Route

世界三大恐竜博物館、日本海の荒波に浸食されてできた奇岩、日本最大の古代湖の琵琶湖を巡る「古代のロマン」

福井県立恐竜博物館

Platinum Alpine Route

「3000M級の山々」が連なる中をケーブルカー、ロープウェイ、バス、トロリーバスなどを乗り継いで横断

雪の壁

Nostalgic Route

サムライ文化の象徴である数々のお城やその城下町、古民家集落や宿場町など「日本の心のふるさと」

世界遺産・白川郷

Ukiyo-e Route

宿場町の様子を浮世絵に描かれ、近世の日本に太平をもたらしたサムライゆかりの城や古戦場、ものづくり産業を体験

富士山

岡崎城

Ise Pilgrimage Route

神道のふるさと「伊勢神宮」を船で渡り参拝する現代のルート豊かな海と温暖な気候がもたらす食や文化を体験

伊勢神宮

※PDCAサイクルを回します。

訪日外国人旅行者の受入環境水準の向上

・昇龍道エリア内の空港、主要ターミナル駅・バス停、道路案内標識、主要観光施設などで無料公衆無線LANの整備、分かりやすい案内表示による多言語対応等を推進。
・海外からの航空路線増加に伴う訪日旅行への対応。
・鉄道、バスなどが連携した周遊キップ設定による二次交通の充実化。
・訪日外国人の消費拡大に向け消費税免税店、免税手続きカウンターなどを増設。

セントレア旅客ターミナルビル2F到着ロビーに「Central Japan Travel Center」を開設

一貫した海外プロモーションの実施

・海外での知名度向上、目的地として選択されるための効果的プロモーションやハイレベルによる昇龍道ミッション団の継続的派遣など、一貫したプロモーションを実施。

昇龍道海外プロモーション

方針3　地域の個性と対流による地方創生①

［第3章　基本方針に係る具体的方策］

1. コンパクト＋ネットワーク

（1）「小さな拠点」の形成・活用による持続可能な地域づくり
　①「小さな拠点」の形成
　②「道の駅」や「みなとオアシス」などの有効活用
（2）地域特性に即した「コンパクト＋ネットワーク」による対流の促進

2. 広域的な連携により創り出す都市圏・地方圏の形成

（1）連携中枢都市圏や定住自立圏構想による新たな広域連携
　①連携中枢都市圏の形成
　②定住自立圏構想の活用
（2）地域の個性や特性を活かした広域連携による地域づくり

3. 地域産業の活性化による地域活力の維持・発展

（1）地域を支える農林水産業の強化
　① 農業
　② 林業
　③ 水産業
（2）地域住民の生活を支える地域消費型産業の振興

4. 地域の個性を活かした交流連携の創出

（1）地域資源を最大限活用する観光振興・観光業の活性化
　①中部ならではの多種多様な地域資源
　②地域資源の保存、継承、磨き上げ、掘りおこし、活用による観光交流
（2）歴史・文化の魅力を活かしたまちづくり
（3）伝統工芸の振興

4.中部圏創生暮らしやすさ実感プロジェクト

・人口減少・少子高齢化が進む中で、都市や中山間地などそれぞれの地域の実情や特性に応じた持続可能な地域づくり
・地域資源や個性を活かした交流連携、地域産業の活性化、地域に活力を生み、就業が安定的に確保され、豊かさを実感できる社会を構築、働き住み続けたくなる中部圏を創生

地域づくり・まちづくり
- 「小さな拠点」の核としての「道の駅」の活用、支援
- 「みなとオアシス」の活用、支援
- 地域特性に応じた「コンパクト＋ネットワーク」の形成
- 地域資源や個性を活かした対流促進
- 地域域の歴史・文化を醸し出すまちなみや景観の形成
- 伝統産業・伝統工芸の振興

地域経済の活性化
- 農林水産業の活性化
- 地域消費型産業の活性化

広域連携の先進をいく三遠南信地域連携

県境を越えた広域連携への取組
- 富士箱根伊豆地域
- 環白山地域

「コンパクト＋ネットワーク」を支える社会インフラの強化

4．中部圏地方創生暮らしやすさ実感プロジェクト ①

地域づくり・まちづくり

■「小さな拠点」の核としての「道の駅」・「みなとオアシス」の活用、支援

・地域の元気を創る地域センター、活力を呼び込むゲートウェイ機能など多面的機能を有する「道の駅」を核とした小さな拠点形成の支援
・「みなとオアシス」を活用した住民の交流、観光振興、防災拠点整備などを支援　など

「道の駅」の多面的な機能

・（守りの機能）地域の産業や福祉、防災拠点など地域の元気を創る地域センター機能
・（攻めの機能）地域の観光エントランスなど地域外から活力を呼ぶゲートウェイ機能

■地域特性に応じた「コンパクト＋ネットワーク」の形成

・連携中枢都市圏、定住自立圏形成の取組支援
・立地適正化計画、地域公共交通網形成計画によるコンパクト＋ネットワーク促進
・過疎地域 における宅配サービスなど新たな輸送システム構築に向けた取組（静岡市玉川地区など）

◆小さな拠点の形成
小学校や旧役場庁舎の周辺に日常生活を支える買い物、医療等の「機能」をコンパクトに集積交通と情報通信によるネットワークで周辺を支える

■地域資源や個性を活かした対流促進

・ウォーターフロント活性化事業や運河再生など、水辺空間を活かした対流促進
・都市近郊における自然景観を活かした交流拠点づくり
・離島資源の魅力発信等による誘客　など

■地域の歴史・文化を醸し出すまちなみや景観の形成

・高山市や亀山市、犬山市など地域の歴史・文化の魅力を活かしたまちづくり
・景観行政団体への移行や景観計画の策定、景観条例の制定、屋外広告物の適正化支援など

中川運河の景観形成

【出典】中川運河再生計画
（名古屋市・名古屋港管理組合）

■伝統産業・伝統工芸の振興

・伝統産業、伝統工芸の振興、技術・技法の伝承、後継者の育成、販路開拓　など

伝統産業・伝統工芸の振興

【出典：四日市市HP、関市HP】

伝統的街並みや歴史的建造物の保全と再生

【出典：観光三重HP】

地域経済の活性化

■農林水産業の活性化

・国家戦略特区の活用、6次産業化・地域ブランド化・農林水産物（加工食品）の輸出促進
・農地中間管理機構の活用、農地集積・集約化、ICT活用した高品質・安定生産
・農業とものづくり産業の連携、新産業の創生
・日本型直接支払制度などを活用、農業・農村の多面的機能の維持・発揮
・森林資源の循環利用、木質バイオマスエネルギー利用促進、木材を活用した新素材の実用化など新たな木材需要を創出
・森林認証制度（FSC等）などを活用、天竜・尾鷲などの地域産材のブランド化、販路開拓支援
・魚礁漁場造成など水産資源や漁場の適切な管理
・三重県で取り組まれる漁師塾などを通じた担い手の育成・確保　など

パリ市内のホテルで開催された飛騨牛フェアの様子

戦略作物（飼料用米）の鶏への給与事例（高山市）

FSC林業認証（浜松市）

■地域消費型産業の活性化

・サービス産業の振興をはかる外部人材の誘致や人材育成、新商品・サービスの開発支援。

4．中部圏地方創生暮らしやすさ実感プロジェクト ②

広域連携の先進をいく三遠南信地域連携

「塩の道」や天竜川を介して、沿岸域から、下～中～上流域の交流連携が綿々と図られてきた三遠南信地域。
35市町村と49経済団体が連携する「三遠南信地域連携ビジョン推進会議」、先進的に「三遠南信地域連携ビジョン」に取り組み、自立的な広域連携都市圏を形成。

・産学官が連携した三遠南信クラスター推進会議による次世代輸送機器や航空宇宙、健康医療、光・電子など新産業創出の取組
・メディアやウェブサイト等を活用した、三遠南信地域の物産・観光交流など情報発信
・浜松・東三河地域イノベーション戦略推進協議会による産業連携、産学官16機関が連携したライフフォトニクスイノベーションへの取組
・東三河広域連合における円滑な推進体制構築など、市町村の自主性を尊重した多様な連携体制を構築　など

広域連携の先進をいく三遠南信地域連携

PET診断技術（浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション健康・医療関係の製品例）

【写真提供：浜松市】

「コンパクト＋ネットワークを支える社会インフラの強化」

・連携中枢都市圏や定住自立圏の形成促進に向けた道路や地域公共交通、情報通信などネットワーク整備
多極分散型の地域構造を活かした対流促進型国土を形成
・地域公共交通ネットワークの維持・確保により、都市と周辺地域の対流形成
・県境や地形的制約を克服し地域間の広域連携を支える高規格幹線道路や地域高規格道路などの整備

遠州・東三河・南信を結ぶ三遠南信自動車道（渋川寺野IC付近）

県境を越えた広域連携への取組

■富士箱根伊豆地域

・富士箱根伊豆交流圏構想にもとづく観光振興、富士山火山災害に備えた防災対策、交通体系整備、富士山を活かした景観形成などの広域連携
・富士箱根伊豆交流圏市町村ネットワーク会議による市町村間の交流・連携など一体感の醸成を図る取組の支援
・富士山の見える風景と裾野に広がる自然や巡りの道を守り、創り、情報発信に取り組む、「ぐるり・富士山風景街道」支援　など

ぐるり・富士山風景街道

豊かな自然や良好な眺望景観を有する地域

観光施設を多く有する地域

文化・歴史資源を有する地域

■環白山地域

・環白山広域観光推進協議会による観光振興、地域間交流等の推進。
・環白山保護利用管理協会を中心とした地域の自然・景観、暮らし・文化の保全再生への取組支援。　など

白山周辺の観光資源

ふくべの大滝

白山白川郷ホワイトロード

白川郷合掌造り集落

【出典：岐阜県観光誘客課パンフレット】

方針3　地域の個性と対流による地方創生②

［第3章　基本方針に係る具体的方策］

5. 快適で安全・安心な生活環境の構築

（1）住民や利用者ニーズにマッチした次世代交通システムの構築

（2）住民生活の安全・安心の確保
①安全・安心な交通環境
②治安・防犯面などにおける安全の確保

5.快適・安全安心生活環境実現プロジェクト

・ICTや新技術等を活用した多様なニーズに対応する環境負荷の少ない次世代型交通システムを構築
・公共空間や日常生活における安全性向上を図り、誰もが快適で安全・安心な生活をおくることができる生活環境の実現

快適・安全安心なまちづくり、次世代交通システムの構築

安全・安心な生活環境、社会の構築

方針4　安全・安心で環境と共生した中部圏形成①

［第3章　基本方針に係る具体的方策］

1. 災害に対して粘り強くしなやかな国土の構築

（1）南海トラフ地震に備えた強靭な国土の構築
①南海トラフ地震対策中部圏戦略会議の取組
②国土交通省の取組
③各県・市町村などの取組
④南海トラフ地震に備えた強靭な国土の構築

（2）頻発・激甚化する自然災害への対応

（3）都市の防災・災害対策の推進

（4）ものづくり産業の防災力強化

（5）広域的な連携による支援体制の強化

（6）ネットワークの多重性・代替性の確保、並びに首都圏のバックアップ体制の強化
① ネットワークの多重性・代替性、太平洋・日本海2面活用型の強靭な国土の構築
② 首都圏のバックアップ体制の強化

（7）地域防災力の向上

6.中部・北陸圏強靭化ＰＪ

①南海トラフ地震など大規模自然災害への備え

・南海トラフ地震や頻発・激甚化する自然災害に備え、 産学官民が一体となりソフト・ハード両面での防災・減災対策に取り組み、中部圏の防災力をより強固なものとし、首都圏のバックアップ機能を備えた、強靭な国土を構築
・発災した場合でも、人的・物的被害を最小化するとともに、被災後の迅速な復旧・復興を可能とする体制を構築

南海トラフ地震や大規模自然災害等への備え

- ・南海トラフ地震への備え
- ・頻発・激甚化する自然災害への対応
- ・都市の防災・災害対策の推進

ネットワークの多重性・代替性確保

地域防災力強化、広域連携支援体制強化

- ・自助・共助による地域防災力の向上
- ・広域的な連携による災害支援体制の構築
- ・ものづくり産業の防災力強化

②［中部・北陸広域連携］太平洋・日本海２面活用型国土構築

中部圏・北陸圏が一体となり、ネットワークの多重性・代替性を確保し、サプライチェーンなどを代替補完する企業間連携などを強化することで、我が国の社会経済活動に係る被害を最小限に留めることができる、太平洋と日本海の2面を活用した強靭な国土を構築する。

大規模被災時における早期復旧・復興を図るための体制・基盤の整備

太平洋ー日本海広域企業間ＢＣＰの推進

5．快適・安全安心生活環境実現プロジェクト

快適・安全安心なまちづくり、次世代交通システムの構築

・都市における公共交通網（LRT、BRT）の充実・展開や広域環状道路ネットワーク整備、
　都市基盤の強化による総合的なまちづくり
・ETC2.0やICTを活用した次世代ITSの確立、安全運転支援システムの実用化。
・超小型電動モビリティを活用した次世代交通システムの構築。
・都市圏内外の交流を促進するイベント・コンベンション機能の強化　など

日本型BRT【連節バス】（岐阜市）

【出典：岐阜市ホームページ】

次世代交通システム（超小型モビリティ）

【出典：豊田市 HPより】

次世代ITSのイメージ

【出典：国土交通省資料】

安全・安心な生活環境、社会の構築

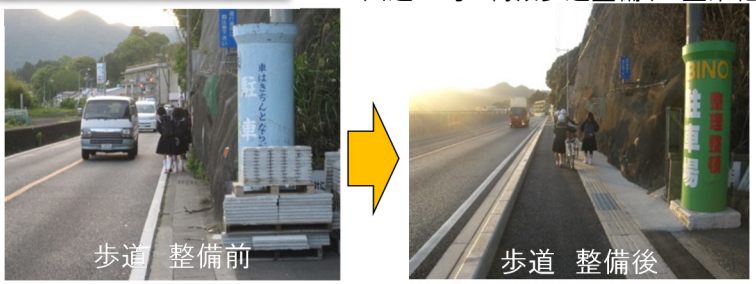
・幹線道路における、事故ゼロプランによる重点的・集中的な交通事故対策
・生活道路への進入や速度抑制対策、通学路の安全対策
・快適、安全な自転車利用環境の整備
・高齢者の交通事故対策に関係機関等が協働して取り組む

・事業用自動車や運転者に関する様々な情報を、車両からのデータ通信によるビックデータとして
　蓄積、事故防止運転モデルを構築
・安全運転支援技術、ASV 車両、デジタル式運行記録計、ドライブレコーダーの取得支援

・「事業用自動車総合安全プラン2009」に基づく法令を遵守した安全第一の運行
・テレマティックス技術や同保険の活用などハード・ソフト両面の安全対策
・生活安全センターとしての交番機能、、防災・防犯活動拠点の確保、防犯ボランティア育成、
　夜間照明・防犯カメラ設置
・犯罪の防止に配慮した公園、道路の整備など防犯性の高い生活環境の構築
・サイバー空間における安全性の確保

交通事故削減に向けた取組

国道42号　鵜殿歩道整備（三重県紀宝町）



安全運転支援技術

方針3　地域の個性と対流による地方創生②

［第3章　基本方針に係る具体的方策］

5. 快適で安全・安心な生活環境の構築

（1）住民や利用者ニーズにマッチした次世代交通システムの構築

（2）住民生活の安全・安心の確保
①安全・安心な交通環境
②治安・防犯面などにおける安全の確保

5.快適・安全安心生活環境実現ＰＪ

ICTや新技術等を活用した多様なニーズに対応する環境負荷の少ない次世代型交通システムを構築するとともに、公共空間や日常生活における安全性向上を図り、誰もが快適で安全・安心な生活をおくることができる生活環境の実現を目指す。

快適・安全安心なまちづくり、次世代交通システムの構築

安全・安心な生活環境、社会の構築

方針4　安全・安心で環境と共生した中部圏形成①

［第3章　基本方針に係る具体的方策］

1. 災害に対して粘り強くしなやかな国土の構築

（1）南海トラフ地震に備えた強靭な国土の構築
①南海トラフ地震対策中部圏戦略会議の取組
②国土交通省の取組
③各県・市町村などの取組
④南海トラフ地震に備えた強靭な国土の構築

（2）頻発・激甚化する自然災害への対応

（3）都市の防災・災害対策の推進

（4）ものづくり産業の防災力強化

（5）広域的な連携による支援体制の強化

（6）ネットワークの多重性・代替性の確保、並びに首都圏のバックアップ体制の強化
① ネットワークの多重性・代替性、太平洋・日本海2面活用型の強靭な国土の構築
② 首都圏のバックアップ体制の強化

（7）地域防災力の向上

6.中部・北陸圏強靭化プロジェクト

6－1 南海トラフ地震など大規模自然災害への備え

・南海トラフ地震や頻発・激甚化する自然災害に備え、産学官民が一体となりソフト・ハード両面での防災・減災対策に取り組み、中部圏の防災力をより強固なものとし、首都圏のバックアップ機能を備えた、強靭な国土を構築
・発災した場合でも、人的・物的被害を最小化するとともに、被災後の迅速な復旧・復興を可能とする体制を構築

南海トラフ地震や大規模自然災害等への備え
- ・南海トラフ地震への備え
- ・頻発・激甚化する自然災害への対応
- ・都市の防災・災害対策の推進

ネットワークの多重性・代替性確保

地域防災力強化、広域連携支援体制強化、ものづくり産業の防砂威力強化
- ・自助・共助による地域防災力の向上
- ・広域的な連携による災害支援体制の構築
- ・ものづくり産業の防災力強化

6-2［中部・北陸広域連携］太平洋・日本海２面活用型国土構築

・中部圏・北陸圏が一体となり、ネットワークの多重性・代替性を確保
・サプライチェーンなどを代替補完する企業間連携などを強化、我が国の社会経済活動に係る被害を最小限に留めることができる、太平洋と日本海2面活用の強靭な国土を構築

大規模被災時における早期復旧・復興を図るための体制・基盤の整備

太平洋－日本海広域企業間ＢＣＰの推進

6．中部・北陸圏強靭化プロジェクト　6-1 南海トラフ地震など大規模自然災害への備え①

南海トラフ地震や大規模自然災害等への備え

■南海トラフ地震への備え

・南海トラフ地震対策中部圏戦略会議における優先的に取り組む連携10課題への取組
・伊勢湾港湾広域防災協議会における、伊勢湾BCP並びに港湾BCPの策定
・中部5県・名古屋市が先導的に取り組む国土強靭化地域計画などの取組を市町村にも拡大、市町村も含めた「オール中部」による南海トラフ地震への備え　など

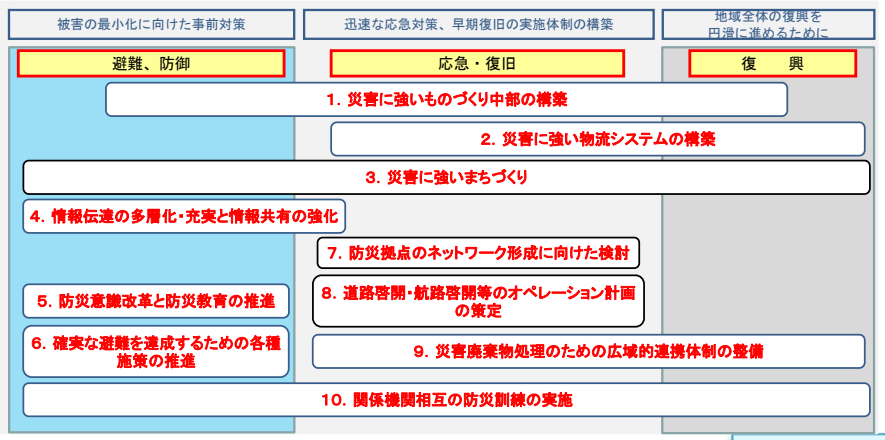
■頻発・激甚化する自然災害への対応

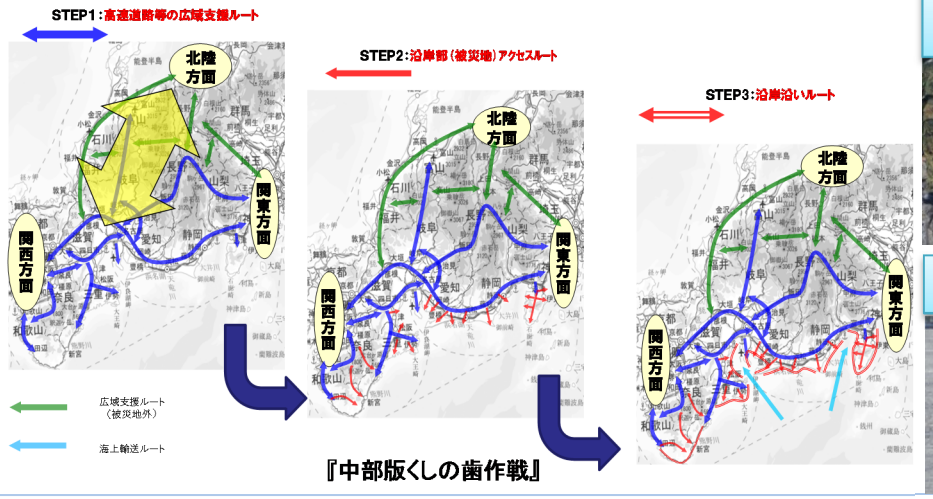
・国土強靭化基本計画や強靭化地域計画に基づく、国や県・市町村、並びに関係者が一体となったハード・ソフト両面の防災・減災対策
・H27.9関東・東北豪雨の教訓、「住民目線のソフト対策」「洪水を安全にながすためのハード対策」「危機管理型ハード対策」を一体的・計画的に推進
・道路、河川、港湾、海岸、ダム、下水道、砂防、治山等整備
・スーパー伊勢湾台風襲来に備えた木曽三川改修、沿岸部の高潮対策、「粘り強い海岸堤防」整備
・伊勢湾をはじめ臨海部の防波堤・防潮堤等の機能強化
・土砂災害警戒区域等の指定、各種ハザードマップの作成及び周知等による避難体制の充実強化　など

■都市の防災・災害対策の推進

・都市部における浸水被害の軽減・防止を図るための都市河川の改修
・市街地地下空間の耐震化、避難誘導対策
・無電柱化、密集市街地対策、住宅・建築物の耐震化・不燃化、下水道施設耐震化。
・都市再生安全確保計画等の作成・運用による帰宅困難者対策、住民・来訪者の避難誘導対策。
・都市部官民境界基本調査、地籍調査　など

南海トラフ地震対策中部圏戦略会議の連携10課題





『中部版くしの歯作戦』

道路啓開訓練（名古屋市緑区大高町）

航路啓開訓練（名古屋港）

ネットワークの多重性・代替性確保

・中部圏の骨格を成す東西軸、南北軸、環状軸の強化、半島地域へのアクセス軸の強化。
・重要交通網を保全する土石流対策、地すべり対策、道路斜面や盛土等防災対策
・緊急輸送道路ネットワークの整備・耐震化
・東日本・西日本間の電力融通を行う周波数変換装置の拡充など電力系統の増強。など

重要交通網を保全する地すべり対策

【出典：中部地方整備局】

半島地域へのアクセス軸強化

（紀勢自動車道　海山IC付近）

6．中部・北陸圏強靭化プロジェクト　6-1 南海トラフ地震など大規模自然災害への備え②

地域防災力強化、広域連携支援体制強化

■自助・共助による地域防災力の向上

・行政と地域住民の協働による地区防災計画、地域協働型ハザードマップ策定、事前復興まちづくりなど大規模災害に対するソフト対策
・共助や協働のリーダーとなる地域防災リーダーの計画的育成
（地域防災力強化人材育成事業、ふじのくに防災学講座　等）。
・防災高度な知識・知恵・技術を有する人材や中学生・高校生など次世代の地域防災の担い手の育成（「ふじのくに防災に関する知事認証制度」など）
・災害発生時に自ら行動し、地域住民に対する指導等を行う防災専門家の育成
・地域特性に応じた具体的被害想定に基づく地域防災訓練等の実施　　など

■広域的な連携による災害支援体制の構築

・大規模災害に備えた広域的な防災ネットワーク形成、大規模な広域防災拠点等の整備
　→司令塔：名古屋三の丸地区、静岡県庁
　→高次支援：名古屋空港、名古屋港、富士山静岡空港

・中部・北陸9県・名古屋市「災害時等の応援に関する協定・実施細目（防災）」の有効発現、広域的な防災訓練による連携強化
・各県と物流事業者団体との物資輸送・保管、物流専門家の派遣、資機材の提供等に関する災害時支援協定の新規締結又は改定の促進
・大規模災害など非常時における重要通信網の確保やLアラートの利用拡大、防災行政無線や消防・救急無線のデジタル化

・富士山火山災害に備えた富士山火山防災対策協議会、広域連携による防災体制整備や火山防災訓練の取組
・東海圏の6大学連携による自然災害軽減のための研究促進（東海圏減災研究コンソーシアム）
・被災した地方公共団体等に対する技術支援を迅速に行うための緊急災害派遣隊（TEC－FORCE）の体制整備　　など

■ものづくり産業の防災力強化

・ものづくり産業を支える中堅・中小企業の持続的経営を可能とする企業BCP策定支援
・サプライチェーンの寸断等によるものづくり企業の生産力低下の防止、四日市・霞コンビナートなどで取り組まれる、地域連携BCPの取組の拡大による強靭な連携・協働体制の構築　　など

自助による地域防災力強化への取組　（あいちシェイクアウト訓練）

写真：岡崎市立常磐東小学校（H25）

家の中や職場などいろいろな場所で実施できます！

【出典：あいちシェイクアウト訓練実行委員会HP】

大規模な広域防災拠点（高次支援）とその役割

【出典：中部地方整備局】

6．中部・北陸圏強靭化プロジェクト　6-2【中部・北陸広域連携】太平洋・日本海２面活用型国土構築

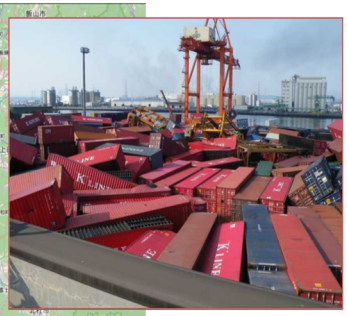
大規模被災時における早期復旧･復興を図るための体制･基盤の整備

・中部圏および北陸圏の自治体間の防災相互応援協定等の締結
・代替補完機能を有する高規格幹線道路等の整備、空港･主要港湾、緊急輸送路などの耐震性能強化など、両圏域の相互応援体制･基盤強化
・平時の連携による有事の迅速な対応を図るため、両圏域での国際貨物共同輸送などの取組

太平洋－日本海広域企業間BCPの推進

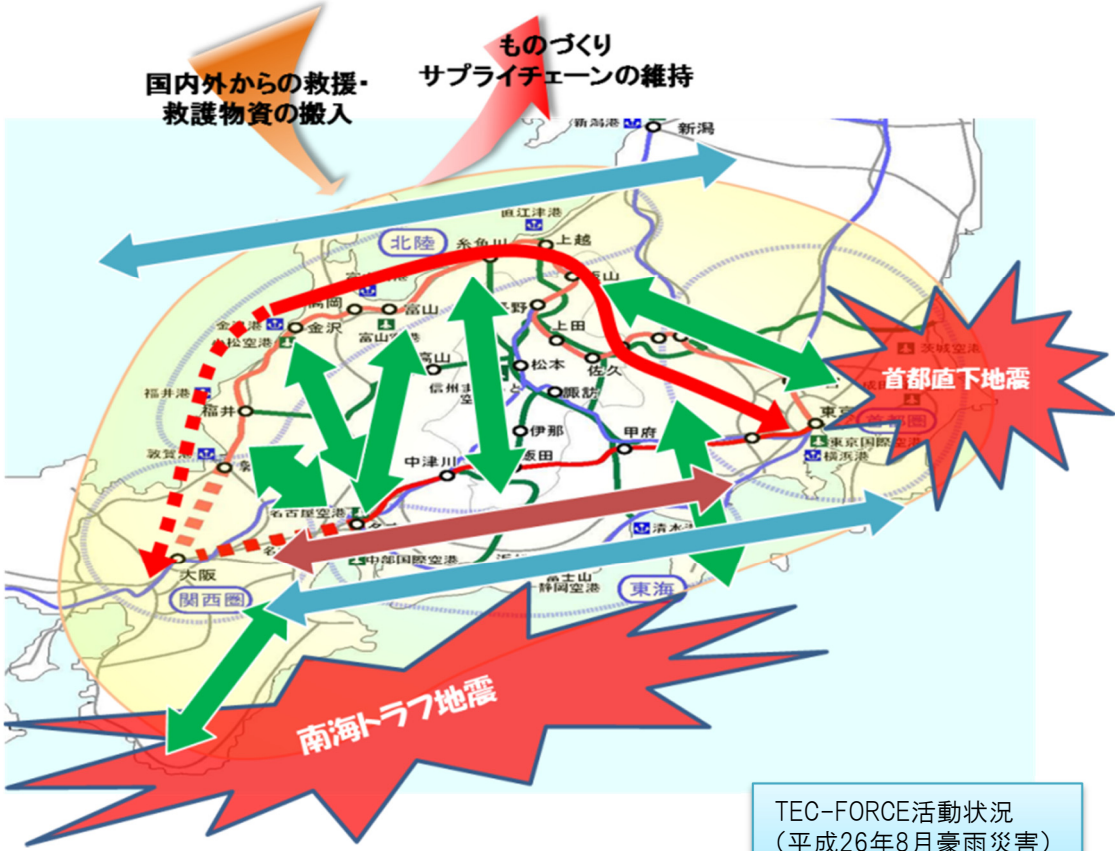
・ものづくりを支える中小企業のBCP策定
・南海トラフ地震などの被災により事業継続が困難な状況に陥ったとしても、早期に事業復旧を実現するなど、両圏域企業の連携によるリスクマネジメントへの取り組み

大規模災害時の港湾物流バックアップ体制の確立
～太平洋側港湾の代替港としての日本海側港湾の活用～



東日本大震災時
仙台塩釜港　コンテナバース被災状況

■日本海･太平洋2面活用型国土の形成



首都直下地震及び南海トラフ地震に対応した
代替輸送訓練（北陸地方整備局･北陸信越運輸局）

グループ討議状況

訓練状況

南海トラフ地震に備えた
「広域連携防災訓練」

自衛隊によるTEC-FORCEの輸送訓練

TEC-FORCE活動状況
（平成26年8月豪雨災害）
（広島県）

TEC-FORCE、消防、警察、自衛隊との合同現地調査

方針4　安全・安心で環境と共生した中部圏形成②

［第3章　基本方針に係る具体的方策］

2. 環境と共生した持続可能な地域づくり

（1）自然環境の保全・再生、環境と調和した美しい景観・国土づくり
①生物多様性の確保
②沿岸域の海洋環境の保全・再生
③自然と調和する美しい景観の創造・保全

（2）持続可能な都市・地域づくり
①低炭素型社会の構築
②大気環境の保全
③持続可能な社会を支える担い手づくり

3. 国土の適切な保全

（1）健全な水循環、総合的な土砂管理による循環型国土の構築
① 健全な水循環
② 総合的な土砂管理の推進

（2）物質循環の安定的確保による地域循環圏の形成

（3）森林や農地の整備・保全
①森林
②農地

4. インフラの維持・整備・活用

（1）インフラの戦略的なメンテナンスの推進
（2）インフラの戦略的な活用（賢く使う）
（3）民間活力の活用
（4）地域の守り手としての建設業の強化、担い手の確保・育成
①地域の守り手としての建設業の強化
②担い手の確保・育成

7.環境共生・国土保全プロジェクト

・中部山岳を源にした太平洋、日本海に至る森、里、まち、川、海が連環した自然環境や生態系ネットワークの保全・再生による多種多様な自然環境や生物多様性を将来にわたり維持、保全
・低炭素型社会の実現、循環型国土、森林・農地の持つ多面的な機能発揮など適切な国土保全による、環境と共生し国土が適切に保全された持続可能な中部圏を形成

自然環境との共生
- ・中部・北陸圏に跨る山岳地帯などの環境保全
- ・森林から海域に至る多様な自然環境の保全・再生・活用
- ・自然と調和する美しい景観・国土づくり

環境負荷低減、持続可能な社会の形成
- ・低炭素型社会の推進
- ・大気環境対策の推進
- ・ 持続可能な社会を支える担い手づくり

国土保全
- ・健全な水循環の維持又は回復
- ・総合的な土砂管理による国土保全
- ・農地・森林の整備・保全

8.インフラ戦略的維持管理ＰＪ

インフラの老朽化が急速に進む中、インフラの機能を確実に維持し、ストック効果を発揮し続けるため、民間の活力を活用しつつ、インフラの戦略的なメンテナンスや賢く使うことで中部圏の生産性向上に貢献していく。また、地域の守り手として重要な役割を担う建設業の強化や、その担い手の確保・育成を図り、インフラが適切に管理された安全・安心な中部圏を構築する。

インフラの戦略的なメンテナンス、活用
- ・インフラの戦略的なメンテナンス
- ・インフラの戦略的な活用（賢く使う）
- ・ 民間活力の活用

地域の守り手としての建設業の強化、担い手の確保・育成

7．環境共生・国土保全プロジェクト

自然環境との共生

■中部・北陸圏に跨がる山岳地帯などの環境保全

・環白山、中部山岳などにおける生態系保全対策
・南アルプスや北アルプスなどにおけるライチョウ保護対策など生物多様性の保全活動
・登山道及び山小屋トイレの整備による山岳環境の保全　など

ライチョウ保護増殖への取組

【出典：環境省資料】

■森林から海域に至る多様な自然環境の保全・再生・活用

・水源林、並びに生物の生息環境・良好な景観保全に資する里山林の整備・保全
・自然生態系や農林業への影響を軽減する鳥獣被害防止対策、外来種の生息調査・駆除
・木曽三川流域自治体による流域連携事業
・「人」や「いきもの」が身近に共生する環境整備（「多自然川づくり」など）
・市街地に残された貴重な森の保全、都市緑化（「なごや東山の森づくり」など）　など

■自然と調和する美しい景観・国土づくり

・南アルプスユネスコエコパーク、伊豆半島ジオパーク、富士山など美しい風土・風景の保全、　富士山・伊豆地域における地域景観協議会の設立・運営による広域景観形成
・中部5県27地区で展開する日本風景街道の取組支援
・中部の景観形成に係る指針策定による、関係者が連携した美しい国土づくり　など

環境負荷低減、持続可能な社会の形成

■低炭素型社会の推進

・木質バイオマスやバイオガスなど再生可能エネルギーの利用
・EV・PHV・FCV普及、充電インフラ・水素ステーションの整備・グリーン物流、モーダルシフト
・省エネ・低炭素な住宅・建築物の普及
・エコ通勤、エコドライブ　など

■大気環境対策の推進

・微小粒子状物質、光化学オキシダント対策
・環状道路整備等による市街地通過交通の転換等を促進　など

■持続可能な社会を支える担い手づくり

・2014年ESDユネスコ世界会議（あいち・なごや）の成果を活かす「人づくり」の展開　など

低炭素型社会実現に向けた環境モデル都市

【出典：内閣府HP】

国土保全

■健全な水循環の維持・回復

・森林の持つ公益的機能の維持増進による健全な水循環の確保
・伊勢湾再生会議を中心とした産学官民一体の排出汚濁負荷量削減
「伊勢湾、森・川・海のクリーンアップ大作戦」などによる流域圏での清掃活動
干潟・浅場の保全・再生など伊勢湾の水質改善に向けた取組　など

■総合的な土砂管理による国土保全

・山地から海岸までの一貫した総合的な土砂管理
・世界遺産富士山の構成資産［三保松原」の海浜保全による文化的価値の保全など

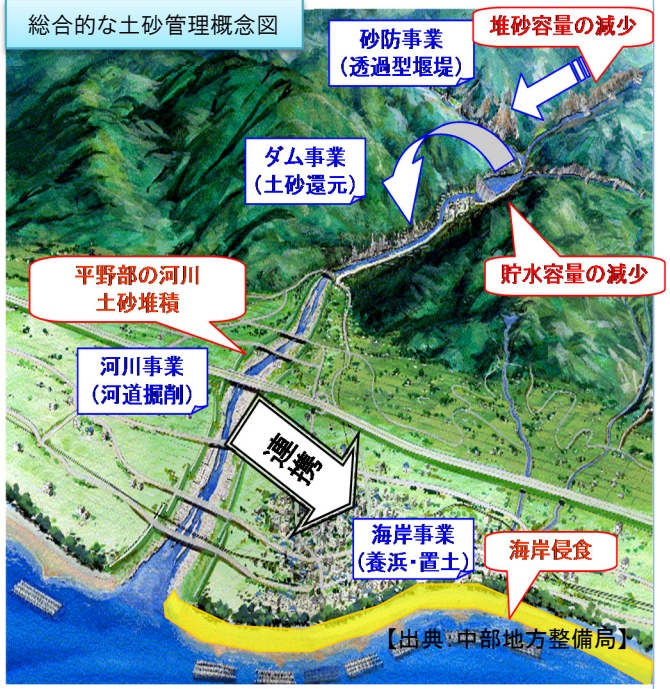
■農地・森林の整備・保全

・岐阜県水源地保全条例など、水資源として保全すべき地域の指定や整備・保全などによる水資源保全対策
・森林環境税などを活用した森林再生
・大型野生動物の生息域拡大、国土保全機能の低下、ニホンジカ等被害対策推進
・農村景観を形成する地域資源の保全・管理、農業継続による健全な国土保全など

清流の国ぎふ
親子「森・川・海」体験ツアー

東山の森づくり

総合的な土砂管理概念図



【出典：中部地方整備局】

方針4　安全・安心で環境と共生した中部圏形成②

［第3章　基本方針に係る具体的方策］

2. 環境と共生した持続可能な地域づくり

（1）自然環境の保全・再生、環境と調和した美しい景観・国土づくり
①生物多様性の確保
②沿岸域の海洋環境の保全・再生
③自然と調和する美しい景観の創造・保全

（2）持続可能な都市・地域づくり
①低炭素型社会の構築
②大気環境の保全
③持続可能な社会を支える担い手づくり

3. 国土の適切な保全

（1）健全な水循環、総合的な土砂管理による循環型国土の構築
① 健全な水循環
② 総合的な土砂管理の推進

（2）物質循環の安定的確保による地域循環圏の形成

（3）森林や農地の整備・保全
①森林
②農地

4. インフラの維持・整備・活用

（1）インフラの戦略的なメンテナンスの推進
（2）インフラの戦略的な活用（賢く使う）
（3）民間活力の活用
（4）地域の守り手としての建設業の強化、担い手の確保・育成
①地域の守り手としての建設業の強化
②担い手の確保・育成

7.環境共生・国土保全ＰＪ

中部山岳を源にした太平洋、日本海に至る森、里、まち、川、海が連環した自然環境や生態系ネットワークの保全・再生による多種多様な自然環境や生物多様性を将来にわたり維持、保全とともに、低炭素型社会の実現、循環型国土、森林・農地の持つ多面的な機能発揮など適切な国土保全による、環境と共生し国土が適切に保全された持続可能な中部圏を形成する。

自然環境との共生
- ・中部・北陸圏に跨る山岳地帯などの環境保全
- ・森林から海域に至る多様な自然環境の保全・再生・活用
- ・自然と調和する美しい景観・国土づくり

環境負荷低減、持続可能な社会の形成
- ・低炭素型社会の推進
- ・大気環境対策の推進
- ・ 持続可能な社会を支える担い手づくり

国土保全
- ・健全な水循環の維持又は回復
- ・総合的な土砂管理による国土保全
- ・農地・森林の整備・保全

8.インフラ戦略的維持管理プロジェクト

・インフラの機能の確実な維持、ストック効果を発揮し続けるため、民間の活力を活用しつつ、インフラの戦略的なメンテナンスや賢く使うことで中部圏の生産性向上に貢献
・地域の守り手として重要な役割を担う建設業の強化、担い手の確保・育成
・インフラが適切に管理された安全・安心な中部圏を構築

インフラの戦略的なメンテナンス、活用
- ・インフラの戦略的なメンテナンス
- ・インフラの戦略的な活用（賢く使う）
- ・ 民間活力の活用

地域の守り手としての建設業の強化、担い手の確保・育成

8．インフラ戦略的維持管理プロジェクト

インフラの戦略的なメンテナンス、活用

■インフラの戦略的なメンテナンス

・インフラ長寿命化計画に基づく長寿命化対策、維持管理に係るメンテナンスサイクルの確立、トータルコストの縮減・平準化
・道路メンテナンス会議などを活用した道路インフラの維持管理
・「中部圏インフラ用ロボットコンソーシアム」の取組を発展・拡大、インフラロボット技術の開発
・「大型車通行適正化に向けた中部地域連絡協議会」による、過積載等の違法車両の取締や大型車両の通行の適正化

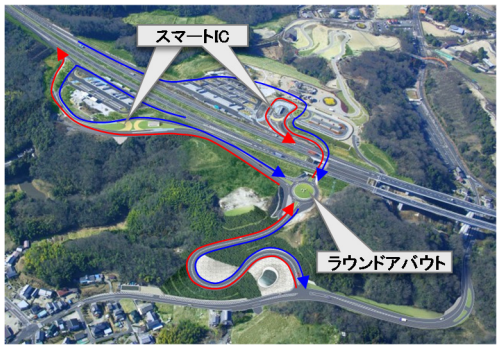
■インフラの戦略的な活用（賢く使う）

・スマートICによる高速利便性向上、ラウンドアバウトによる交通運用効率化
・センサー技術活用した水資源開発施設の運用高度化、港湾施設の再編、コンテナターミナル自働化等スマートインフラの推進　など

飯田市：ラウンドアバウト導入事例

【出典：飯田市HP】

鞍ヶ池スマートIC・ラウンドアバウト導入事例



【出典：豊田市幹線道路整備促進協議会】

■民間活力の活用

・愛知県道路公社有料道路事業、浜松市の上下水道事業、富士山静岡空港管理業務等に対する民間事業者による運営事業実施に向けた取組

知多半島道路

【出典：愛知県道路公社ホームページ】

浜松市西遠浄化センター

【出典：浜松市資料】

地域の守り手・建設業の強化、担い手の確保・育成

・「i－Construction」による情報化・省力化・平準化、並びに「建設ICT導入・普及研究会」などを通じた情報化施工による建設生産性の向上

・「中部圏けんせつ未来懇話会」提言、産官と教育関係者の連携による建設業担い手確保

・「中部圏建設担い手育成ネットワーク協議会」による、建設若者塾や建設産業担い手の確保・育成対策支援事業、入職促進、人材育成、離職防止支援等

・岐阜大学社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座や名古屋大学大学院「橋梁保全技術研修」等によるインフラメンテナンス人材育成

・建設現場の週休二日制や子育てしやすい職場環境改善など技術者の継続的確保・育成　　など

i-Construction（イメージ）

方針5　人材育成と共助社会の形成

［第3章　基本方針に係る具体的方策］

1. 中部圏を支える人材の育成と確保

（1）高度人材、グローバルに活躍する人材

①ものづくり中部・世界最強化ＰＪ[再掲]

ものづくり産業を担い活躍する人材の育成･確保

（2）地域社会の連携による人材の育成･確保

9.すべての人が輝くひとづくりPJ

・地域を支える多様な人材を育成･確保、女性の多様なライフスタイルの実現や、高齢者の経験･能力を積極的に活かすことができる社会の形成
・障害者共生社会形成、多文化共生社会など、若者や女性、高齢者、障害者、外国人など地域で生活する一人一人が夢や希望を持って安心して働き、暮らし続けることができ、すべての人々が輝く社会を実現

2. 全ての人々が参画し輝く社会の形成

（1）女性活躍社会の実現～地域社会の連携による人材の育成･確保～
（2）高齢者参画社会の促進～多様なライフスタイルの実現･人材育成～
（3）障害者共生社会の形成～健康長寿を伸ばし生き生きと活躍できる社会～
（4）多文化共生社会の形成
～誰もが社会参画し能力を最大限発揮し得る社会～

・多様な人材を育て活躍できる社会　～地域社会の連携による人材の育成・確保～
・女性活躍社会　～多様なライフスタイルの実現・人材育成～
・高齢者参画社会　～健康長寿を伸ばし生き生きと活躍できる社会～
・障害者共生社会　～誰もが社会参画し能力を最大限発揮し得る社会～
・多文化共生社会　～多国籍外国人が安全・安心に働き、暮らせる社会～

3. 多様な主体による共助社会づくり

10.新たな「つながり」社会構築PJ

中部圏の地域と人がつながりの強さを活かした、住民や地域社会が主体的に支え合う共助社会を構築する。また、コミュニティ再生や、増大する医療や介護、福祉需要への対応を通して、新たな地域と人がつながる、誰もが愛着を持ち働き住み続けたくなる中部圏を構築する。

4. 誰もが愛着と憧れを持ち、働き住み続けたくなる地域づくり

・子を産み育て住み続けることができる地域づくり
・空き家の適切な管理による良好な地域づくり

5. 医療･介護、福祉における安心な暮らしの確保

・安心な医療・介護・福祉環境の構築

9．すべての人が輝く「ひとづくり」プロジェクト

■多様な人材が活躍できる社会
～地域社会の連携による人材の育成・確保～

・地域中小企業人材バンク事業などを活用、UIJターン人材の確保、地域を支える中堅・中小企業のニーズに合う人材の発掘、マッチング、定着できる仕組づくり
・長期インターンシップ、フィールド学習等を通じた実践的教育
・「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC＋）」、地域を担う人材育成
など

■女性活躍社会　～多様なライフスタイルの実現・人材育成～

・多様なワークスタイルの実現に向けた環境整備（ふるさとテレワーク推進事業等）
・ワークライフバランス実現に先導的な企業の表彰や周知活動（「岐阜県子育て支援エクセレント企業」認定、「しずおか女子きらっ☆」「あいちワークライフバランス推進協議会」など）、子育て女性の再就職支援
・イクメン・イクボスなど男性の育児参画
・ものづくり現場の改善による女性が働きやすい環境づくり　など

■高齢者参画社会　～健康長寿を伸ばし生き生きと活躍できる社会～

・シニア・シルバー世代が経験と知識を活かして積極的に社会参加できる「人生二毛作」社会実現（長野県「シニア活動コーディネーター」など）
・元気な高齢者が支援を必要とする高齢者の生活を支え、活躍できる仕組みづくり（静岡市「元気いきいき！シニアサポーター事業、名古屋市「地域支え合い事業」等）
など

■障害者共生社会　～誰もが社会参画し能力を最大限発揮し得る社会～

・農福連携事業など、求人企業と求職障害者のマッチング、就労支援
・障害者に対する社会理解促進、身近な相談体制などの共生への取組
・特別支援学校の整備促進。
・ユニバーサルデザインのまちづくり（「ふじのくにユニバーサルデザイン行動計画」等）　など

■多文化共生社会　～多国籍外国人が安全・安心に働き、暮らせる社会～

・「外国人労働者の適正雇用と日本社会への適応を促進するための憲章」の普及による労働環境の改善や外国人労働者の就労支援
・プレスクールの普及促進、外国人児童生徒をサポートする語学相談員設置・派遣。
・医療通訳育成など医療現場での多言語対応
・防災分野での「やさしい日本語」普及促進や多言語による防災知識・情報の普及・促進　など

【出典：ふるさとテレワーク推進のための地域実証事業 提案概要（総務省）】

あいちワーク・ライフ・バランス推進運動
2015

【出典：愛知県HP】

男性の育児参画推進
（ファザー・オブ・ザ・イヤーinみえ）

【出典：三重県HP】

ふじさんっこ応援隊として活動するシニア

【写真提供】静岡県

女性活躍社会に向けた取組

【出典：中部経済産業局「平成25年度版一人ひとりが輝くために中部における多様な人材活用事例集】

テレワークへの取組事例
住みよい信州×わーく²プロジェクト（実施地域：長野県塩尻市、富士見町、王滝村）

・人口規模の異なる3市町村でバーチャルオフィスと生活直結サービスを共同利用するテレワークの仕組構築
・都市部の仕事を地方で続けられることを実証し、都市部から地方への人と仕事の誘致を目指す。

方針5　人材育成と共助社会の形成

［第3章　基本方針に係る具体的方策］

1. 中部圏を支える人材の育成と確保

（1）高度人材、グローバルに活躍する人材

①ものづくり中部・世界最強化ＰＪ[再掲]

ものづくり産業を担い活躍する人材の育成･確保

9.すべての人が輝くひとづくりPJ

（2）地域社会の連携による人材の育成･確保

地域を支える多様な人材を育成･確保していくとともに、女性の多様なライフスタイルの実現や、高齢者の経験･能力を積極的に活かすことができる社会の形成を目指す。
また、障害者共生社会形成、多文化共生社会など、若者や女性、高齢者、障害者、外国人など地域で生活する一人一人が夢や希望を持って安心して働き、暮らし続けることができ、すべての人々が輝く社会を実現する。

2. 全ての人々が参画し輝く社会の形成

（1）女性活躍社会の実現～地域社会の連携による人材の育成･確保～
（2）高齢者参画社会の促進～多様なライフスタイルの実現･人材育成～
（3）障害者共生社会の形成～健康長寿を伸ばし生き生きと活躍できる社会～
（4）多文化共生社会の形成
～誰もが社会参画し能力を最大限発揮し得る社会～

・多様な人材を育て活躍できる社会　～地域社会の連携による人材の育成・確保～
・女性活躍社会　～多様なライフスタイルの実現・人材育成～
・高齢者参画社会　～健康長寿を伸ばし生き生きと活躍できる社会～
・障害者共生社会　～誰もが社会参画し能力を最大限発揮し得る社会～
・多文化共生社会　～多国籍外国人が安全・安心に働き、暮らせる社会～

10.新たな「つながり」社会構築プロジェクト

3. 多様な主体による共助社会づくり

・中部圏の地域と人がつながりの強さを活かした、住民や地域社会が主体的に支え合う共助社会を構築
・コミュニティ再生や、増大する医療や介護、福祉需要への対応を通して、新たな地域と人がつながる、誰もが愛着を持ち働き住み続けたくなる中部圏を構築

4. 誰もが愛着と憧れを持ち、働き住み続けたくなる地域づくり

共助社会

地域に愛着あるまちづくり･安心な暮らし

・子を産み育て住み続けることができる地域づくり
・空き家の適切な管理による良好な地域づくり

5. 医療･介護、福祉における安心な暮らしの確保

・安心な医療・介護・福祉環境の構築

１０．新たな「つながり」社会構築プロジェクト

共助社会

・日常生活支援サービス産業育成、ソーシャルビジネス起業、課題解決型NPO育成
（あいちコミュニティ財団、ふじのくに未来財団等の中間支援組織の取組支援）

・クラウドファンディング、ソーシャル・インパクト・ボンドなど不特定多数からの資金調達の仕組みづくり、企業CSRの一環としての社会貢献活動やプロボノ活動

・地域自治組織による地域課題への対応、小規模多機能自治（伊賀市、名張市、松阪市等）の取組支援　　など

ソーシャルビジネス支援
（官・金・中間支援組織連携）

健康長寿

信州ACEﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ推進事業（長野県）

【写真提供】長野県

地域に愛着のあるまちづくり・安心な暮らし

■子を産み育て住み続けることができる地域づくり

・都市部の専門人材の地域への還流を促進するためのUIJターン支援
（ふじのくにに住み替える事業など）
・地域おこし協力隊制度などを活用した、地域おこし支援
・多様な保育ニーズへ対応した保育サービスの充実
（保育所、認定こども園の確保、病児・病後児保育、潜在保育士の再就職支援等）
・大規模公的賃貸住宅団地の建て替えに合わせた子育て支援施設や福祉施設の整備
・高齢者の安定的な居住環境や住宅確保要配慮者に対する住宅セーフティネット構築　　など

■空き家の適切な管理による良好な地域づくり

・空き家の再生・除却等を通じた良好な居住環境の創出、UIJターン定住促進
（三重県「空き家リノベーション支援事業など）
・お試し移住体験（奥矢作移住定住促進協議会）や廃校舎活用（愛知県東栄町・のき山学校）など地域の交流拠点等としての活用促進　　など

■安心な医療・介護・福祉環境の構築

・国家戦略特区を活用した未承認医薬品等の評価迅速化
・訪問医療に必要な医療機器、訪問車両、ICTツールの整備支援
・病院、診療所、介護施設等で患者情報を共有する地域医療ネットワーク構築
・高齢者の見守り体制など地域の支え合い活動の充実や地域包括ケアシステム構築
・健康づくりなど生活習慣病の悪化などを防ぐ予防保全
・日本版CCRC制度導入に向けた官民連携による検討
（長野県「多世代まちなか・むらなか居住構想」、静岡市「健康シニア笑顔いっぱい推進事業」等）
・岐阜県と富山県のドクターヘリ共同運行など広域救急医療提供体制の強化　　など

空き家再生

空きや見学ツアー（愛知県交流居住センター）

【写真提供：愛知県】

廃校舎活用・地域交流拠点　「のき山学校」

【写真提供】愛知県

地域の中で支え合うために必要なサービス構築への取り組み（四日市市）

H25年3月より65歳以上の高齢者等向けに、地域住民による安価な日常生活支援サービス提供システムとしてスタート

【出典：厚生労働省HP】